

# 謹賀新年 ききょう苑通信



発行日  
2018年1月  
第7号

発行：医療法人社団 松和会 介護老人保健施設「ききょう苑」  
〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目 6-1237  
TEL：(0463) 92-8101 ☒ kikyō-en@showakai.or.jp

あけましておめでとーございませう。

新年を迎えて

「ききょう苑」は、ご利用者、ご家族、地域の皆様、行政関係各位、そして多くの方のご指導、ご支援により、少しずつその運営、役割の改革を進めています。職員一同、その理念、役割、そして意識を胸に、より良い施設をめざします。

リハビリはもちろん、**当たり前前の生活を**

「ききょう苑」は、介護老人保健施設としてリハビリを軸として、より良い生活の質を高めることが目標です。そこで、「ききょう苑」では、当たり前前の日常生活を考え、いろいろな工夫、企画を行っています。例えば、「喫食（楽しく食事をする）」を進めています（下記）。また、苑庭に「パターゴルフ」を開設し、リハビリも兼ねて、楽しんでいただいています。これからは、一人一人が目標を決めて、当たり前前の生活をめざしたりリハビリを行なっていきます。

ご家族、地域との連携を

リハビリでは、ご本人の意欲が一番大切ですが、その効果を上げるには、ご家族のご理解、ご支援も不可欠です。すでに、リハビリのご様子をご家族に写真でご報告を始めてました（下記）。そして、苑での生活の様子、目標達成度、将来に向けての計画検討などについて、さらにご家族との連携に努めていきます。また、地域との連携は、病院連携、施設連携、災害連携などはもとより、老人施設についての理解と上手に利用いただくためのセミナー（下記）などを始めています。

「ききょう」の理念に基づき介護を

『ききょう』、『ききょう』聞きなれたお言葉、『よき読み取る』、『よい促す』を理念に介護に努めます。そして、ご利用者のご家族だけでなく、地域、行政からも、そして、職員からも、「利用してよかった、知って良かった」と言ってくれただけ施設作りをめざします。



（施設長 小澤 明）

今年も喫食強化します！

「食」は生活の中でも重要な楽しみの一つです。それは生活の質、ひいては人生の質も左右します。栄養部ではご利用者に食への喜びを感じていただき、「生きる力」にしたいだけの食事提供に努めてまいりました。ききょう苑ではそれを「喫食」と銘打って、昨年一年間、食の充実を図ってきました。

地方色豊かな郷土料理やお弁当箱は、皆さんの笑顔を引き出せました。

★郷土料理シリーズ！



★お弁当箱シリーズ！



2月に入所2階、3月に入所3階にて寿司バイキングを実施します！

外出する機会の少ない入所のご利用者にも食事を通して四季を感じて頂けるよう、季節感のある食材の提供、歳時やイベントに合わせたお楽しみメニューを用意いたしました。今年もご利用者の皆様に頂いたご意見を献立内容に反映させ、喫食の充実につなげてまいります。食事を通してご利用者がさらに笑顔になれることを、目指してまいります。

（栄養部 木我 みな美）

老人施設セミナー開催！

伊勢原市民のみならず、老人施設の概要を理解して頂き、老人施設を有効に利用して頂けるよう、伊勢原市後援、老人施設セミナーを開催致しました。



老人施設についてスクリーンで説明しました。



「コグニサイズ」という、頭と体を同時に使う運動を行いました。

①地域の老人介護施設を上手に利用しよう！

高齢者介護施設の概要とそれぞれの違い、利用方法等について解説。

②ワンポイント・アドバイス

介護や認知症予防についてなど、介護、看護、リハ、そして栄養スタッフが担当します。興味がある方はご連絡ください！

（副施設長 通所事業担当 宮崎 亮）

リハビリ風景をお届け！



熊澤 操さん

杖を使った歩行訓練を行っています。最近、歩行距離が少しずつ伸びています。



ご利用者のリハビリテーションの様子を写真に撮り、ご家族宛にお送りしています。

ききょう苑に入所され、なかなかお会いできないご家族より「近況が分かり良かったです。」「リハビリを頑張っている様子を見て、安心しました。」などの反響を頂いています。

（リハビリテーション部 主任 川口 真男）

# フラメンコボランティア



2017年11月8日(水)に「La Fuente ラフエンテ」が来苑され、2階フロアにてフラメンコを披露して頂きました。ききよう苑では初めての開催となり、フラメンコを見たことがない利用者様や職員も多かったため、きれいな衣装や迫力のある踊り、生演奏や歌に「時間が経つのが早いね」と楽しんでいました。



最後に「コーヒールンバー」の曲に合わせて、フラメンコの振り付けをみんなで行ない、大いに盛り上がりました。今後も地域交流や余暇時間の充実のため、多種多様な活動を予定しています。

(ボランティア委員長 菅 恵美子)



# ききよう苑秋祭りを開催しました!

2017年11月5日(日)、秋晴れに恵まれ、「ききよう苑秋祭り」が開催されました。模擬店、くじ引きや、駄菓子、カラオケ大会、「そよ風ハウス」コーナー、リハビリコーナー、看護の知識コーナーにたくさんの方の来苑者をお迎えし、大盛況となりました。



第2回カラオケ大会では、点数が大接戦となり、盛り上がる中、ききよう苑通所リハビリテーションをご利用いただいている、高平富美子様が、見事優勝されました!

当日は、日差しが暖かく、来苑された皆さんに、中庭のミニゴルフ場も開放して、パターゴルフを楽しんでいただきました。



リハビリコーナーでは、身体能力を測るロコモ度テスト、脳の活性化トレーニングのヨガニサイズを行いました。



看護のコーナーでは、肥満と健康についての知識、巻き爪の治し方のアドバイスをいたしました。

(介護部通所 副主任 榎戸 富士子)

# お知らせ

## 【寄贈】

プロジェクト一台  
栗原誠一先生(湘南皮膚科・平塚)  
※セミナー、勉強会などで使わせて頂きます。ありがとうございます。

(副施設長 事務事業担当 前田大介)

## 【今後の予定】

- ・2月3日 節分行事予定
- ・ノロウイルス、インフルエンザ感染予防のため、中学生までのお子様は一階ロビーにて面会をお願いいたします。
- ご理解、ご協力をお願いいたします。
- (期間 12月6日～3月31日まで)

(感染症対策委員長 新倉 太一)

# 編集後記



新年明けましておめでとうございます。ききよう苑通信も第7号の発行となり、苑行事だけでなく、いろいろな内容を掲載しております。また、風邪やインフルエンザが流行する時期になるため、ご利用者、職員ともども、うがい、手洗いを実施しています。

寒い日が続きますので体調に気を付けてお過ごしください。

(介護部 前場 未樹)